香深中だより

平成29年　7月14日　№9

礼文町立香深中学校

礼文町香深村字トンナイ

0163-86-2021

kachu@educet.plala.or.jp

3名が全道出場権を獲得。

成長を実感。卓球部

稚内市緑体育館を会場に行われた、卓球の管内大会。初日に行われた団体戦リーグでは、男子チームが連戦連勝の快進撃。最終戦で同じく全勝だった利尻中と宗谷代表の座をかけることに。結果は善戦及ばず準優勝となったものの、昨年からの成長著しい試合ぶりに会場からは大きな拍手が送られていました。

続く個人戦トーナメントでも好ゲームの連続。３年生は全員が１勝をあげ、男女合わせて３名の部員が８強入り。８月１日から日高町で行われる全道大会への切符を手に入れました。

【男子団体リーグ戦～６チーム出場】

香深中学校　　準優勝（４勝１敗）

【男子個人戦トーナメント～４８名出場】

２年	野崎　桂佑	１回戦敗退
３年	加藤　龍真	２回戦敗退
３年	千代谷　輝	２回戦敗退
３年	鈴木　　新	２回戦敗退
１年	鈴木　　佑	３回戦進出～ベスト１６
３年	嘉義　琉哉	３回戦進出～ベスト１６
３年	夏堀　悠斗	３位入賞　～全道出場権獲得

【女子個人戦トーナメント～４６名出場】

２年	石井　　南	１回戦敗退
３年	川村　玲楠	２回戦敗退
３年	野崎　愛華	３回戦進出～ベスト１６
３年	鈴木　仁愛	８位入賞　～全道出場権獲得
３年	坪山　実央	５位入賞　～全道出場権獲得

観戦記

惜しくも全道出場は果たせなかったものの、３回戦へと駒を進めた３人の頑張りも印象深かった。

男子は大会初出場の１年生と、これまで管内大会での勝ち星がなかった３年生の快進撃で大盛り上がり。また、女子は競技経験１年余りの３年生が接戦を制して勝ち進み、そのあきらめない姿勢に高い評価が。この日の香中生の試合のうち、フルセットにもつれ込んだ試合は男女合わせて実に８つ。そのうち６試合に勝利した粘り強さは、見ている者の胸を間違いなく熱くした。

静かなる闘志と同時に、試合を終えての爽やかさも心に残った。チームメイト同士の対戦の後、「頑張ってね」と笑顔で語りかける姿。ライバル校の選手とコートサイドで談笑する姿。スポーツを通してつながりあっている姿に、とても温かな気持ちにさせられた。

熱闘！宗谷地区中体連

最後まで全力の野球部

悲願の勝利ならず

香深中・船泊中の合同チームは大会初日の第１試合で潮見が丘中と対戦。今季初勝利を目標に試合に臨みましたが、攻守ともにリズムをつかみきれず、序盤から大量失点を許す苦しい展開に。４回に四球選択で出塁した３年生が敵失に乗じて本塁へ帰還し、一矢を報いたものの、力及ばずコールド負けという結果となりました。

３年生引退後は今大会のレギュラーを含め、１・２年生が９名残るチーム礼文。悔しい敗戦をバネに、夏休みも体を鍛え、昨年６月以来の勝利を目指します。

【トーナメント１回戦】

香深中・船泊中	０００１０	１
潮見が丘中	５７０３Ｘ	15

（5回コールド）

観戦記

立ち上がり、制球に苦しむ先発。次々と塁が埋まり、アウトがなかなか遠い。守備の乱れも手伝い、初回に５失点。それでもチームはなぜか明るかった。誰かのミスを責めることなく、回が進むごとに掛け合う声も大きくなっていった。待望の１点が入り、盛り上がるベンチ。野球が好きなんだなと、見ていて心から思った。部員が少なくて去年の秋は他町も交え、３校合同で試合に出た子どもたち。不自由な思いもしたに違いない。苦労もしたからこそ、負けていてもグラウンドで躍動するチームができた。それを知っている保護者や島の人たちが球場にはたくさん駆け付けた。試合後の笑顔での挨拶。応援団からの温かな拍手。大敗だったけど、きっと一生の財産になると思う。勝って驕らず負けて腐らず。誠実な者を、野球の神様はきっと見ている。

地元宗谷で全道大会が今年度開催されるバレーボール。例年よりも２枠多い出場権を目指し、チーム礼文は稚内市内の２校と予選リーグで対戦。１年生も交えたメンバーで善戦するも、決勝リーグへと駒を進めることができませんでした。チームを牽引してきた３年生も今大会で引退。残る１・２年はギリギリの人数の６名で秋に向け再出発となります。

【予選リーグBブロック】

香深中・船泊中	０－２	稚内中
香深中・船泊中	０－２	稚内東中

観戦記

チーム存続が危ぶまれる声も聞かれた中、４名の新入部員を迎えて無事に今季を迎えたバレー部。他校と比べると人数も少なく、小柄な選手ばかりだが、大きな声を出して伸び伸びとプレーする姿に好印象を持った。１・２年生の好サーブ、好レシーブも見られ、チーム全体が練習以上の力を発揮できた大会だったのではないだろうか。大会前には地域の大人たちが何度も体育館に足を運び、ゲーム相手をしてくれたことにも感謝したい。敗れはしたものの、今まで以上に粘り強く拾い、つなぐバレーが見られた今大会。新しいチームもその粘り強さで着実に力をつけていってほしい。

善戦も一歩及ばず。

バレー部の夏終わる。